



たいじょうほうしん

帯状疱疹とは？

帯状疱疹とは？

水痘（水ぼうそう）と同じウイルスで起こる、皮膚の病気です。

初感染では、水痘を引き起こします。水痘が治った後も、ウイルスは体内（神経節）に潜伏しており、免疫力が低下すると、ウイルスが再び活性化し、帯状疱疹を引き起こします。

※ 発症リスクを高めるもの：加齢、ストレス、疲労、糖尿病やがんなど免疫力が低下する病気など

症状は？ 治療は？

はじめは、体の一部がピリピリと痛み、やがて痛みのある部分に発疹が出て、水疱（水ぶくれ）ができます。体の左右どちらか片側に、神経に沿って帯状に生じます。症状の多くは上半身に現れますが、顔面、特に目の周りに現れることもあります。治療は抗ウイルス薬です。多くの場合、皮膚症状が治まると痛みも消えますが、神経の損傷により痛みが続くことがあります。「帯状疱疹後神経痛（PHN）」と呼ばれ、最も頻度の高い合併症です。痛みが続く場合は、医療機関を受診しましょう。

帯状疱疹は、他人からうつって発症する病気ではありません。

感染経路は？

ただし、帯状疱疹の患者から、水痘にかかったことがない人へウイルスがうつり、水痘を発症させることがあります。帯状疱疹患者の水疱との接触による感染が中心ですが、飛沫による感染もあります。水疱の中には多量のウイルスが含まれており、すべての水疱がかさぶたになるまで感染力があります。

予防法は？

日頃から体調管理を心がけ、免疫力が低下しないようにすることが大切

です。50歳以上の方は、ワクチン接種で予防することができます。かかりつけ医に相談しましょう。

任意接種なので、費用は自己負担です。